マダガスカル賛歌

もう一度行きたい！

マダガスカル

遠山 龍彦 ✦ 遠山 孝子

青山ライフ出版

目次

はじめに　イヴァント国際空港
そしてバオバブの並木道とキツネザルへ……4
ゴンドワナ大陸とマダガスカルの大地…… 20
そして、もう一度行きたい、マダガスカル…… 22
サザンクロス街道（1）：Southern Cross Road に乗って
マダガスカルを縦断する…… 30
サザンクロス街道（2）：ボネドパップとイサロ国立公園 …… 44
サザンクロス街道（3）：終着点トウリアーラそして
アンツカイ植物園からリゾート地イファティへ… 54
世界無形文化遺産の彫刻：ザフィマニリ村と子供たち…… 62
ひまわり　TANAMASOANDRO（タナマスアンズ） …… 67
マダガスカル紫檀の彫像…… 70
ハイビスカス…… 72
ここで一息！　マダガスカルのトイレ事情…… 74
我が家のマダガスカル…… 77
あとがき…… 82

はじめに
イヴァント国際空港　そしてバオバブの並木道とキツネザルへ

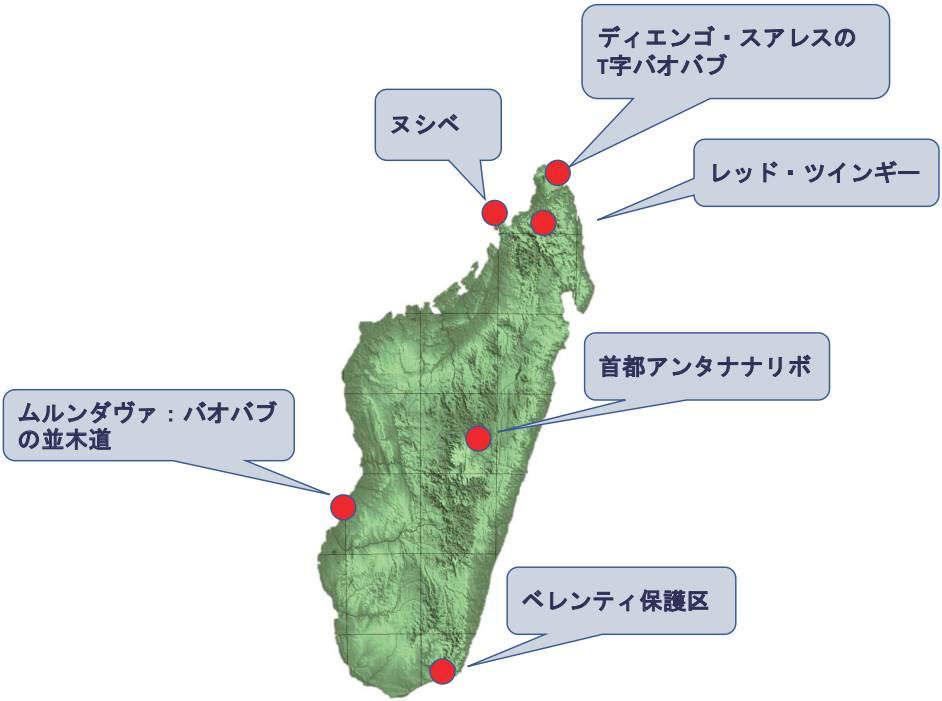
当初、2015 年 4 月の旅行会社のマダガスカルツアーに応募したのですが、他に希望者がなく、私たちだけで行くことになりました。当時はバンコックでマダガスカル航空に乗り換え、直接アンタナナリボのイヴァント国際空港に行くことができました。バンコックへ着き、「さあマダガスカル航空に乗って目的地へ」と胸を躍らせているとき、丁度アジアアフリカ会議と鉢合わせになってしまいました。私たちが乗ることになっていた飛行機はマダガスカル大統領が使うことになりましたので、「しばらく」お待ちくださいとのお達しがありました。「しばらく」がクセモノで、結局丸々２日間以上バンコックに足止めされました。ない袖は振れません。他に飛行機が工面できないのですから当局も必死だったのかもしれませんし、当然だったのかもしれません。私たちには計り知れないことで、唯々待つのみでした。翌年にこの路線がなくなってからは、ドバイ、モーリシャス経由で行くことになりました。この路線は時間がかかりますが、極端な遅れはなくなりました。

イヴァント国際空港は小さく、決して清潔で、派手な空港とは言えませんが、その建築様式はマダガスカルの富裕層の家屋を模したものか、はたまた多数派民族のメリナ族の家屋と関係するのか、三角屋根を連ねた独特の風貌を呈していました。私の検索した範囲では、ネットやマダガスカル研究懇談会のホームページに

もこの建築様式について記載が見られませんでした。

さて、この国を訪問したからには、当然のことながら巨大なバオバブが林立するムルンダヴァの並木道、ベテンティー保護区のキツネザルたちを見ないわけにはいきませんし、大いに感動したことは言うまでもありません。これらについては沢山の解説書、旅行案内書がありますので、ここでは印象に残った首都アンタナナリボとそのほか何か所かを地図上に記し、写真を掲載いたしました。

この地の旅行が 1 回きりで終わらなかったのは、以前から興味を持っていたゴンドワナ大陸の “ へそ ” であり、他の大陸が去ってしまった後も悠然と留まったマダガスカル島への限りない興味でした。日本を「日いずる国」と表現するなら、この島は「世界地図が始まる国」とでも言ってよいのではないでしょうか。そしてイヴァント国際空港を起点にマダガスカルを北へ南へと移動する私たちの旅が始まりました。


ディエンゴ・スアレスの
T字バオバブ
ヌシベ
レッド・ツインギー
首都アンタナナリボ
ムルンダヴァ：バオバブ
の並木道
ベレンティ保護区

アンタナナリボ　イヴァント国際空港

三角屋根の連ねたような建築様式が特徴です。

アンタナナリボの富裕層の居住区

手前にはイヴァント空港と似たような家屋がみられます。